

バグダッド日誌(6月7日)

○多国籍軍C-9

多国籍軍と日本の間の連絡調整は、ナショナルLO()で実施しており、各国の先任連絡官幹部は(パレス(多国籍軍司令部)から約50m程離れたコアリション・オペレーション・オフィスに席が設けられ、そこで勤務している。コアリション・オペレーション・オフィスの正面に多国籍軍C-9(軍民作戦)のオフィスがあり、事務所が近所であることもあり、親しくしている。

このC-9には、数名のアメリカに亡命したイラク人が勤務しており、私を日本人と認識して、しきりに声をかけてくれる。ある方は、サダム・フセイン時代の空軍少将で旧ソ連の空軍大学に留学した経験もあるそうだ。私にアラビアン・コーヒーを飲ませながら、昔話に花を咲かせるので、私もニコニコしながら彼の自慢話に付き合っている。また、ある方はバグダッドの丸紅支店を立ち上げた方で、日本にも沢山の友人がおり、我々日本隊の相談によくのってくれる。大変な親日家で、古いイラク人の友人からイラクのお菓子を入手しては、我々にも食べさせてくれる。この方は、カナダに亡命して、その後アメリカ国籍を取得したそうである。

キャンプ・ヴィクトリーという多国籍軍により管理された敷地内での勤務であるが、C-9の方々を通じてバグダッド市民の生活やイラクの風俗・文化の一部を垣間見ることができる。



バスラLO日々業務報告(6月7日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港() (警戒態勢) : ()
2 特記事項	(1) () (2) ()
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : () (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) カウンターIED研究会(於シャイバ基地)
5 その他(備考)	